

職域越え「現場」共有

長野建協女性部会

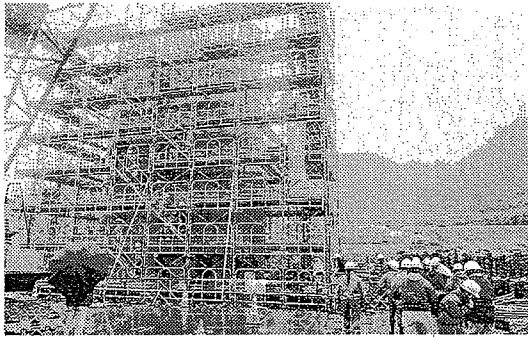
長野県建設業協会(藏谷伸一会長)は、女性部会初の現場見学会を開いた。部会員以外にも県内の建設会社で働く女性社員42人が参加した。現場の仕事を知ってもらいたいとの考えから職種を越え、事務職の女性社員も参加した。

同県の優良技術者表彰などを受賞した平澤里枝部会長は「コミュニケーションを広げるとともに、新たな関心



平澤部会長

を感じてほしいと思います、開催した。たくさんの方と知り合い、刺激ももらって帰っていただきたい。これから



分かりやすい言葉で事業内容を説明

初の見学会を開催

らも県内各地で開催したいと考えている」とあいさつした。現場の仕事でない人にも伝わるよう詳細に分かりやすい言葉で事業内容を説明した。

当日は平澤部会長が担当する「H26年度社会資本整備総合交付金(復興)工事 箕作飯山線下水内郡栄村箕作(明石(箕作大橋P2))」の現場を見学した。

同部会は昨年8月に国土交通省と全国建設業協会など建設5団体が「もっと女性が活躍できる行動計画」を策定したことを受けて6月に発足し、活動を開始した。計画には建設業で働く女性技術者、技能者の数を5年で倍増させる目標を掲げた。部会員は会社の代表者を始め、建設現場に従事する技術者、現場代理人ら12人で構成している。